

IFCCレター

改題NO87 (通算 101 号) 2022 年 6 月

IFCC国際友好文化センター
東京都新宿区山吹町333番地
辻ビル405

TEL 03-3268-4387

FAX 03-3268-6079

Email: jvccpf@rmail.plala.or.jp

終息しないコロナ禍が3年目ですが、社会的様態の変化に対応し、皆様の支えを糧に活動を続けています。

近況報告し、ご挨拶とさせていただきます。

活動自粛の中でしたが昨年は、ベトナムでは枯葉剤爆弾被害者貧困家庭への『仁愛の家』寄贈及び少数民族出身学生支援奨学金活動を、キューバでは米国によって仕掛けられた“非通常戦争”下で困窮するキューバ国民への緊急支援金贈与活動、などおこなってきました。

今年度は、その活動を一步進めたく思っております。

●近況

IFCC の活動基盤である共同出資旅行社アイエフシーのため、2020 年に多大な協賛とご協力をいただき、現在、なんとか事務所維持し活動を続けています。維持がぎりぎりの状態に陥っておりますが、最後の爪痕を残したく、諸計画をすすめているところです。

2019年のベネズエラ危機から「フェイクに抗う中南米情報」E-mail 発信を開始してきましたが、昨年はキューバでの攻防もあり 21 回、今年に入りウクライナをめぐる「フェイクに抗して」7 回の発信をしてきました。

●キューバ&ラテンアメリカ連帯



日本キューバ連帯委員会 (CUBAPON) では、前年度、会報を 3 回発行し、キューバへの緊急支援と連帯を行ってきました。(CUBAPON 会報をご覧ください)

キューバ連帯の一環として DVD 映像「日本人キューバ移民の記録」を制作してきました。

CUBAPON は活動開始して 2022 年で 28 年となりますが、さる 5 月 27 日、永年の CUBAPON の活動に対しキューバ諸国民友好協会(ICAP)より『ICAP 創立 60 周年記念勲章』を授与されました。

今、キューバのアーティストも続々来日が計画されてきています。今秋には CUBAPON の友好訪問団も検討されています。

キューバの息吹に飢えている皆様のご参加を呼びかけます。詳細は CUBAPON 会報をご覧ください。

●ベトナムでの友好活動

NPO 日本ベトナム平和友好連絡会議 (JVPF) を通じた友好活動の柱は「枯葉剤爆弾被害者貧困家庭への支援」と「少数民族出身学生への奨学金の活動」です。

【ご連絡】

ビルの老朽化による建て替えて、30 年間も慣れ親しんだ事務所を移転することになりました。移転後の事務所稼働は 8 月になります。今後ともよろしく願いいたします。

・移転先は：〒162-0801

東京都新宿区山吹町 316 番地 菊地ハウス 101

・電話番号、FAX 番号はこれまでと同様です。



小学校で交流するベトナムアンサンブルメンバー

2021年の枯葉剤爆弾被害者貧困家庭への支援は、埼玉 JVPF によって中部クアンナム省へ 10 軒の『仁愛の家』寄贈として実現しました。この埼玉 JVPF がこれまで寄贈してきた『仁愛の家』は都合 50 軒となりました。

北部ハザン省での『仁愛の家』寄贈はベトナムアンサンブルチャリティーコンサートの中止にともない実現できませんでした。

少数民族学生奨学金支援は、2022 年 1 月、北部ハザン省、南部ラムドン省で実施されてきました。次年も継続されます。

・2023 年が日越外交関係樹立 50 周年記念年の節目の年となるため、今年から日越友好の「日越緑の架け橋」植林活動に着手する予定となっています。

・2 年間にわたって中止を余儀なくされていた「枯葉剤被害者支援/ベトナムアンサンブルチャリティーコンサート」は 3 年ぶりの開催を目指して準備に着手しています。

●中国での平和の旅

今年は日中国交正常化 50 周年ですが、日本では「台湾有事論」を振りかざした軍事肥大化へのルールが引かれようとしています。

“实事求是”に基づく「村山談話を継承する平和の旅」の再開を念じているところです。(鎌田)

【ご案内】いずれも予定あるいは検討中です

●9 月 ホーチミン市村山記念日本語学校/農業体験訪日団

●10 月 ボンセン国立歌舞団選抜来日/アンサンブル公演

●11 月 CUBAPON/キューバ友好訪問団

●1 月 JVPF/ベトナム少数民族学生奨学金贈呈訪問団

※皆様のお声かけをお待ちしております。

寄稿 爆弾被害者支援活動の今、そして今後

～チャリティーコンサートの意義を問う～

蘇る枯葉剤爆弾の“恨”。今それは日本へ

●今年ハベトナムの 1975 年 4 月 30 日の南部解放統一から 48 年目となる。1961 年 8 月 10 日の枯葉剤爆弾投下から 61 年。

昨年 12 月年の瀬も押し詰まった 28 日、NHKテレビは日本の枯葉剤破棄埋蔵問題を取り上げた。

この問題は、数年ごとに繰り返し報道され、蘇ってきている。

●ベトナム戦争時、福岡県大牟田市にあった三井東庄化学では、ダイオキシンを含む除草剤 2,4,5-T(2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸、以下、245T)が製造され、ベトナムで 2,4-D (2,4-ジクロロフェノキシ酢酸、以下、24D)と混合され、枯葉剤(エージェントオレンジ)としてベトナム戦争で使用された。

●ベトナム戦争で使われたナパーム弾もその 93%は日本製 だったという。ところが、71 年 4 月のベトナム戦争終結に伴い行き場を失った大量の枯葉剤を国有林に破棄し埋めた。その個所は林野庁所管で 54 か所と言われる。

林野庁分以外に農水省が埋めた農薬もあり、その埋設農薬は、全国 24 道県、168 か所の総数量約 4,400t。当該の自治体でもその詳細を把握していないという。

この他、沖縄では米軍が枯葉剤入りドラム缶を大量に破棄し地中に埋めた。

●戦後、朝鮮戦争、ベトナム戦争と戦争特需で成長を遂げた日本は 1980 年代「ジャパン・アズ・ナンバーワン」を謳歌した。今、戦争で傷ついた人々の怨念が「埋蔵された枯葉剤」として、日本に跳ね返ってきている。それは亡霊ではない。腐食したドラム缶をすり抜け、固化したセメントの劣化や覆っていたモルタルやビニールの腐食で、蘇ってきている。

ベトナム戦争は「遠い日」の出来事か

●ベトナムの枯葉剤爆弾被害者の“わたしの体の中では戦争が終わっていない”という叫びを受けとめ、チャリティーコンサート、被害者リハビリ施設建設、被害者支援・慰問・調査、被害者貧困家庭への「仁愛の家」寄贈など支援活動を続けてきたが、今なお断罪されていない戦争犯罪がそれに加担していた日本国民へ生存クライシスとなってきた。

「美しい国 日本」どころではない。「利権」という腐臭まみれの国になろうとしている。

●JVPF 会員連絡報 26 号(2021 年 9 月)で、以下の報告をしてきた。

右写真:埼玉 JVPF がクアンナム省で実施している「仁愛の家」寄贈 48 番目の家族。父親 Vo Dinh Son 氏は心血管疾患。2009 年生まれの長男は脳性麻痺。(2022/3/14 受)



2009 年 3 月 2 日米国最高裁で米化学薬品大手ダウとモンサント 2 社に対する訴訟を却下された被害者のチャン・ティ・トー・ガーさんは、2013 年にフランスのエブリ一刑事法院に枯葉剤を製造した米企業 26 社を提訴。2014 年に 19 社に対する訴訟手続きが開始され、裁判所は受理後 6 年間を経た 2021 年 1 月に正式な裁判を始めた。2021 年 5 月 10 日エヴリー郡の裁判所は訴訟を却下の判断を下した。

●彼女は 1942 年生まれで、ハノイ総合大学を卒業し、抗米戦争時に解放通信社の戦場特派員となった。

1966 年、南部で最も枯葉剤が散布された地域の一つであるクチで暮らし、その後、枯葉剤が常に散布されていた地域であるホーチミン・ルート最南端で取材し戦争のニュースを送っていた。

彼女の 3 人の子供のうち、一番目の娘は心臓の奇形のため 17 か月で亡くなり、二番目の娘は血液の病気にかかり、三番目の娘は多くの皮膚病を抱えている。彼女自身も糖尿病にかかり、体の血管のいたるところ、肺と心臓には小さな粒があり、多くの粒がカルシウム化している。

訴訟を準備する段階で、彼女は、ダイオキシン含有量を確定するため、ドイツで血液の検査を行なった。彼女によれば、これは彼女がまさしく枯葉剤の被害者であることを証明する科学的基礎であり、裁判を進める上での前提条件だった。検査結果を受け取り、自分の体内のダイオキシン濃度を示す数字を見た時、とても嬉しくて泣いたと明かす。

「誰でも自分が体内にオレンジ剤の毒素もっているのを知れば心配になるのに、私は喜びました。なぜならこれから自分は、戦争が終結してから 40 年が経つのにオレンジ剤の苦しみに日々直面しなければならぬ 400 万人の被害者の正義を求める戦いを進めるための証拠を

得られたからです。裁判はベトナムの国や枯葉剤被害者に対する私の人生で最後のご奉公となるでしょう」と彼女は語った。

●だが………却下された。今、彼女は決意する。「私は多くの病気にかかっています。これらの病気は枯葉剤を浴びた人の代表的な病気です。緊張したときに発症することが多かったのですが、諦めずに最後までやります。」

(記:鎌田篤則)

ベトナムアンサンブルの農民たちの踊り「収穫」から



道県	市町村	埋設量	道県	市町村	埋設量
北海道	夕張市	600kg	高知県	四万十町	648kg
	遠軽町	90		いの町	912
	音更町	0.5		大豊町	540
	清水町	0.5		土佐清水市	—
	標茶町	9		佐賀県	吉野ヶ里町
青森県	本別町	0.5	熊本県	熊本市	1295
	中泊町	1220		宇土市	2055
	岩手県	久慈市	200	大分県	別府市
岩手県	野田村	440	宮崎県	西都市	2
	岩手町	3940		宮崎市	1260
	岩泉町	1095		小城市	165
	宮古市	375		都城市	86
	西和賀町	20		串間市	20
福島県	会津坂下町	455	鹿児島県	肝付町	30
群馬県	東吾妻町	1080		湧水町	1200
愛知県	昭和村	45		伊佐市	720
	設楽町	1095		南九州市	445
岐阜県	下呂市	47		屋久島町	3825
広島県	庄原市	374	宇和島市	252	
	愛媛県	久万高原町	18	松野町	72